



Yamaka Topics ヤマカトピックス



マダラの漁獲量減少？

代表的な年末商材といえば棒ダラ。今年は生産量が十分でなく高値が予想されます。原料であるマダラが不漁で供給不足となっていることがその理由です。主要漁場である北海道海域の不漁に加え、ロシア側の規制強化もあり漁を断念したそうです。しかし、水産庁によるとマダラの資源量自体は高位水準であるとされています。加えて資源、漁獲の変動が大きい魚種であり今後、科学的根拠と法的拘束力のある漁獲可能量規制（TAC）を導入することを検討しているようです。魚がいないと獲れないのは当たり前ですが、いても獲れないということなので自然相手は難しいです。

刺身ヒラメに朗報

ヒラメに寄生して食中毒を起こすクドア・セプトンブクタータを簡単に短時間で検査できる検査キットが10月に販売されたそうです。検査に要するコストも低額（一尾150円）という事です。クドアが食中毒指定されてから刺身ヒラメの需要は大幅に縮小してきただけに生産者は需要が持ち直すきっかけとなるよう期待しています。ちなみにクドアは過熱または冷凍すれば発症を防ぐことができます。



いよいよ年末！入荷状況

12月のさかな

ズワイガニ

コウバコガニ

ブリ ◎

タラ ◎

甘エビ ◎

ナマコ ◎

フグ(ムキフグ)

カキ

ヤリイカ

アンコウ



今年の地物タラは例年より早く入荷。品質もよく白子もしっかりしていて生食用としても十分。最近の地震の影響で三陸方面からの入荷が少なく高値ですが、今後に期待。地物ブリは各産地より入荷しております。(石川、氷見、佐渡) 今年はい早い段階から型も整い、10kg未満(8kg~9kg台)のものでも十分脂ののりがあるようです。地物ズワイガニはまずまずの入荷。型は昨年と比べてシッカリとしています。今のところ価格も比較的安く推移しています。香箱ガニの入荷もまずまずですが、大型のものが少ない様子。小振りのものがお買い得。例年、12月に入るとカニ漁場に集中していた漁も落ち着き、甘エビなどが平常通り入荷してきますがこちらも天候次第です。

イクラ北海道サケ漁の不振で搬入量が減少する見込みで高値です。カズノコの価格は概ね前年並み。年間でもこの時期の限定珍味とあって出荷量は抑え気味になっています。